



ふーのん

2026.2 vol.16



風わたる穏やかなまちの情報誌

¥ ころ



特集 | 横浜港南台商店会
稲村善徳新会長インタビュー

おいしい食事と笑顔でつなぐ、港南台の『居場所』
アンジュ ドッグカフェ 田邊詠津子さん

[ころ BOX レポート] close up 生き生き活動
穏やかな優しい空気に包まれて
特定非営利活動法人 ころの健康を考える かるがも会
かるがもの家



撮影 / 藤沼理保

- 11 港南台まちなか1000人インタビュー [vol.16]
しあわせだなあと感じるときは？
- 13 横浜港南台商店会 稲村善徳新会長インタビュー
～子どもたちでにぎわっている街に～
- 15 横浜港南台商店会
会員MAP
- 17 1000人インタビュー ご協力ありがとうございました
～看護専門学校ボランティア部のみなさん～
- 18 編集後記

コレドコノ？



contents

- 01 コレドコノ？
- 03 おいしい食事と笑顔でつなぐ、港南台の『居場所』
アンジュ ドッグカフェ 田邊詠津子さん
- 05 [ころBOXレポート]close up 生き生き活動
800人でにぎわった『古本市』
港南台地区センター・読書サポーターズ in 港南台
- 06 [ころBOXレポート]close up 生き生き活動
小学生ってほんとに面白い！
学童クラブ にじいろハウス
- 07 港南台ここ好きフォト自慢大会！
～みんなに自慢したい、港南台の素敵スポット～
- 09 [ころBOXレポート]close up 生き生き活動
穏やかな優しい空気に包まれて
特定非営利活動法人 こころの健康を考える かるがも会
かるがもの家

おいしい食事と笑顔でつなぐ、 港南台の『居場所』

アンジュ ドッグカフェ 田邊詠津子さん



秋晴れの11月の週末、港南台駅近くの住宅展示場で開かれた「Angemalシェ」。通りを挟んだ2か所に広がったテントの下では、犬向け、人間向けの様々な雑貨やおいしいものが並んでいた。お店の出展者は一見ばらばらに見えるが、実はみな、展示場隣にある「アンジュ・ドッグカフェ」でつながっている。お店の常連さん、カフェで行っているワークショップの講師の皆さん。カフェの食材や調味料の仕入れ先（瀬戸内や珠洲、金沢、紀州、三豊など）の特産品や、それらを使ったカフェメニューも販売している。マルシェはこのところ春と秋に開催している。

犬連れの人だけでなく、提供されるメニューのファンも多く訪れるという居心地の良い空間にお邪魔して、オーナーシェフの田邊詠津子さんにお話を伺った。

人気は「味噌ストロネ」「スリランカカレー」

「小麦粉不使用のグルテンフリーメニュー」

「ふわふわのシフォンケーキ」

その滋味あふれるおいしさの秘密は、自ら日本中の産地に向き、農作業の手伝いをするなど「人と人とのつながり」を築き上げた上で、作物を買い付け、それらを余さず使って作っているところにある。シフォンケーキは、季節の食材を組み合わせて都度違う味わいが楽しめる。



る。この日は収穫のお手伝いをして分けてもらったという梅のシロップ漬が刻んで入っていた。

2005年に、家族で始めたカフェは、2

008年に自宅の建て替えに伴い現在の場所に移転して、弟の経晴さんと一緒に続けている。店名の「アンジュ（天使）」は初めて飼ったトイプードルの名前前で、屋根の風見鶏も天使がモチーフになっており、店の天井にも素敵なアンティークの天使が飾られている。両親の商売・ボランティアを通じて人と関わる姿を見てきたのも、こういう仕事をしている背景かもしれない、とのこと。カフェの片隅では愛犬のソフィーちゃんが静かに座って働く姉弟を見守っている。

「人が好き、アートが好き、食えることが大好き」

メニューが形作られる背景はいくつかある。田邊さんは大のアート好き。2010年、以前より尊敬していた北川フラム氏がダイレクションした瀬戸内国際芸術祭を訪れた。そこで聞いた北川氏の「アートでは命は繋げない。食が大切だ」の言葉に触発され、2015年「食のフ



農園のびのびと園主
林大吾氏提供



リマアの資
格もあり、

よと笑う。ト
帰ってくるんです
いっぱい野菜抱えて
す、行きたびに段ボール

ラム塾[※]に参加。点在する島々に渡ってグループで食堂を開き、地元食材を使ったシフォンケーキを抱えて毎週粟島に飛んでいた。昨年夏は芸術祭開催の豊島で「Angeのカレー屋さん」を開いた。また、能登の芸術祭がきっかけで2017年にポランテアに行き、そこでできた地元企業との縁で塩やコーヒーなどを仕入れ、金沢のカフェでイベントを開催し、売り上げの一部を寄付している。

香川県三豊市では名産の瀬戸内レモンを、和歌山では南高梅を、カフェのお客様に紹介されて札幌で無農薬野菜を。大分と出雲ではサンデーマーケットに向き、少量多品種の野菜を栽培している農家を探し、援農するようになって3年目になる。第一次産業の大切さはこれからもお客様にお伝えしていきたい、とのこと。

また、カフェではリード作りやペット整体なども開催している。食とアートがつかないだご縁でフットワーク軽く日本中を飛び回っている



「世界中の人を港南台に呼びたい」 「戻る場所は港南台」

保健体育教員免許、養護教諭の資格も持っていて、それぞれのエピソードもいつまでも聞いていたくなるようなお話ばかり。初対面でお話しているにも旧知の仲のような気分にさせられる田邊さん。話すときも聞くとともに相手の目をキラキラした瞳でまっすぐ見つめるのが印象的。そしてこのカフェは、ペットで縁が繋がったり、各地の特産品やメニューでおなかを満たすだけではなく、一人ではとくつろぐ、家や学校、職場以外の「居場所」でもある。

※瀬戸内食のフラム塾：瀬戸内国際芸術祭の食プロジェクトとして発足した塾。

田邊さんにとって港南台とは？と尋ねると「戻ってくる場所」という答えが返ってきた。「あちこち飛び回っているけれど、それはここでお店をやっているから。支えてくださるお客様や家族には感謝しかない。本当に幸せです。私の夢は、あちこちで出会った人たちが、港南台に来てくださることなんです」と笑顔で話す。

お話を伺っていると、そのたぐいまれなる行動力とひらめきのすばらしさ、柔軟な発想、そして食への深い愛情が伝わってくる。そして何よりずっと楽しそう。会話の端々に「ありがた、楽しい、幸せ！」が登場する。出会った人

とのご縁を大切に紡ぎ、それをまた次のご縁につなげていく様子は、世界中の人が食やアートを通じて手をつないで輪になっているようで、一枚の絵になりそうだった。「港南台のパワースポットみたいだな」とひそかに思ってた紅茶を飲みほしたら、彼女の口からも「パワースポットみたいな場所になれたらな」という言葉が飛び出した。



弟の経晴さん、ソフィーちゃんと北見智美氏提供



Instagramは
こちら



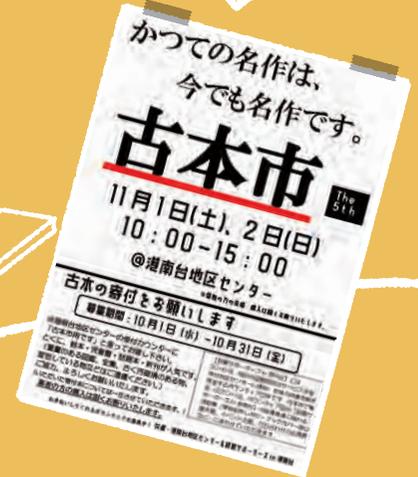
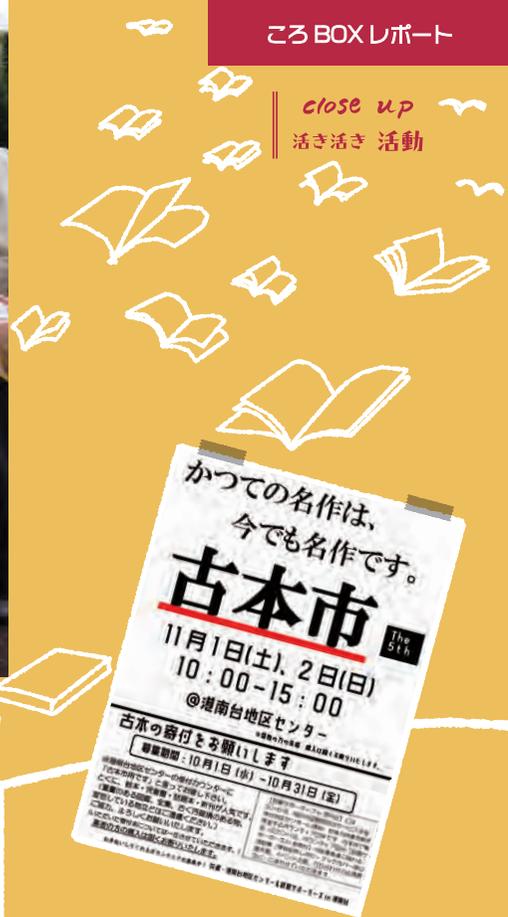
Ange Dog café

横浜市港南区港南台4-23-3
045-836-1501
定休日：木曜、水曜不定休
平日10:00~17:00(L016:00)
土日祝 9:00~17:00(L016:00)
支払い：現金のみ

close up
生き生き 活動



取材日：11月1,2日 レポート◎菅野裕子、塩崎水映子、竹田真奈美、藤沼理保、万木弘美文◎菅野裕子 撮影◎藤沼理保



800人でにぎわった『古本市』 港南台地区センター・読書サポーターズin港南台

11月1日(土)、2日(日)の2日間、港南台地区センターで、第5回『古本市』が開催された。

朝8時半、会場の駐輪場にテントを張るところから準備が始まる。地域住民から集まった寄付本は約7000冊。ジャンルごとに、2日間で偏りが無いように仕分けされている。山積みの本が台車で一気に運び出され、手際よく並べられていく。10時前には、規制線の向こうに人だかりが。開始の合図とともに、お目当ての本に次々と手が伸びる。

とくに人気なのは絵本や児童書。新刊本や話題作も並ぶ。絵本コーナーは広く、靴を脱いでマットの上に行くことができる。2日間で3回来たという親子連れもいた。

歴史ものも人気。推しの作家について、来場者とスタッフの間で会話が弾む。「おすすめは？」と紹介し合う姿も楽しそう。ここに居る人みんな、本好きの集まりなのだ。

この古本市は、港南台地区センターと、地域のボランティア団体『読

書サポーターズ in 港南台』(以下、サポーターズ)が2021年より毎年開催し5回目となる。以前はサポーターズ単独で公園のフリー会場などで行っていたが、地区センターとの共催になり、来場者、古本の数は、格段に増えた。

「本だけを目的にこれほど人が集まるのは凄いこと。地区センターで開催という安心感もあり、状態の良い本、様々なジャンルの本を寄付していただけるようになりました」と話すのはサポーターズ代表の竹内さん。「SDGsにもなり、地域の中でいい本の循環がうまれます」。遠方からの方も年々増え、今年は2日間で800人強が来場した。

港南台地区センターは、図書コーナーの利用率や蔵書の質の高さで定評がある。図書取次サービス(※)の開始から10年。本好きが集まるスポットでもある。副館長の谷田貝さんは、「古本市にリピーターが多いのは、地域の方に受け入れていただいている証し。いい本が揃っている、

来年も楽しみにしている、等のお声が多く、とてもうれしいです。読書活動の推進につながっていると思います」と語る。集まった寄付金はオリジナルブックカバー・しおりの製作費や活動費に。昨年は、サポーターズがおすすめする本を購入し、専用の棚を設置して地区センターに寄贈した。

まちの本屋が減り、本離れが嘆かれる時代。秋空の下、ゆったりと本に親しめる古本市があることは、このまちの自慢の一つだと思う。

※図書取次サービス…ネットで予約した横浜市立図書館の本の受け取り・返却ができるサービス。2016年1月、読書サポーターズin港南台のメンバーらによる住民運動で港南台地区センターでの利用が実現した。



スタッフの皆さんと一緒にふ〜のん編集メンバーもお手伝いしました

close up
生き生き 活動

取材日：8月4日
レポート◎岡野富茂子、金子いずみ、藤沼理保
文◎金子いずみ 撮影◎藤沼理保



学童クラブ にじいろハウス



HPはこちら



ちりモンのキーホルダー



施設長 栗林今日子さん

小学生ってほんとに面白い！

小学生が毎日やってくる学童クラブ。今年のにじいろハウスは1～6年生の17人が登録。学校があるときは放課後、夏休みなどは朝7時30分から夜7時30分まで、2階建て集合住宅の1階2室がみんなの居場所となる。2室はウッドデッキで行き来できるようにして、庭にはミニトマトやきゅうりなどの野菜や季節の花を植えている。夏休み中の今日は、台所から昼食用のご飯を炊く匂いがして、ソファで横になって漫画を読む子がいたり、別の部屋ではアクセサリ作りで没頭するグループ、部屋いっぱいブロックを広げ恐竜や海賊船を作る子たちもいる。スタッフに見守られて安心して過ごせる「もう一つの家」である。

公園に行ったり、登所時間内に近くの習い事や塾に通う子もいるが、夏休みなどはにじいろハウスで過ごす時間が長くなる。みんなで楽しむことが毎日あるようにスタッフは工夫を凝らす。今日は元理科の先生だったスタッフの案で「ちりモンのキーホルダー作り」というワークショップ。子どもたちは、ちりめんじゃこの中に混じるモンスター（小さな蛸や蟹）をピンセットで取り上げては大はしゃぎ。自分で見つけた「ちりモン」で作ったキーホルダーはこの夏の思い出に。年齢差があり個性も様々な子どもたちが一緒に過ごすうちに、喧嘩したり助け合ったり、小さな社会の

中で人間関係を学んでいく。

かつて港南台に学童クラブ（学童保育）は5か所あったが、今ではにじいろハウス1か所になった。施設長の栗林さんは「少子化や、校内で過ごす放課後キッズクラブのほか放課後等デイサービスなど、いろいろな施設が増えてきたからかもしれません。にじいろハウスも児童数が減りました」と、ちょっと考え込む様子を見せたが、子どもたちに「栗せんせい」と囲まれるとたちまち笑顔があふれる。「小学生ってほんとに面白い。毎日が同じようで同じじゃなくて、私たちがワクワクしてます。子どもたちや保護者さん一人ひとりに寄り添えるように、楽しい学童にするために、どうするのがよいかいつもスタッフみんなで考えています」。

家庭や学校以外に信頼できる大人がいる。学童クラブが温かい。



学童クラブ にじいろハウス
横浜市港南区港南台 9-28-18
サンライズ港南台 102・103
電話 045-832-1091



10月に主人が亡くなり、一人で見ると西公園の桜です。もりましたが前日の雨でその涙もかき消され晴天した。(真知子)

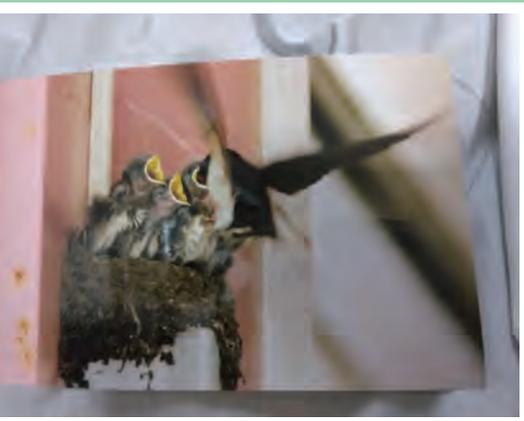


ベランダに遊びに来たジョウビタキ。「じっとしてろよ〜」パシャリ！
緑豊かなめじろ団地が大好き。(まる)

フォト
PHOTO 自慢大会!

港南台の素敵スポット〜

公募。応募作品の中から選ばれた写真です。



通勤中ホッとする瞬間です。毎年沢山の燕が旅立ちます。見守る多くの方がいるのも港南台の良さです。(MK)

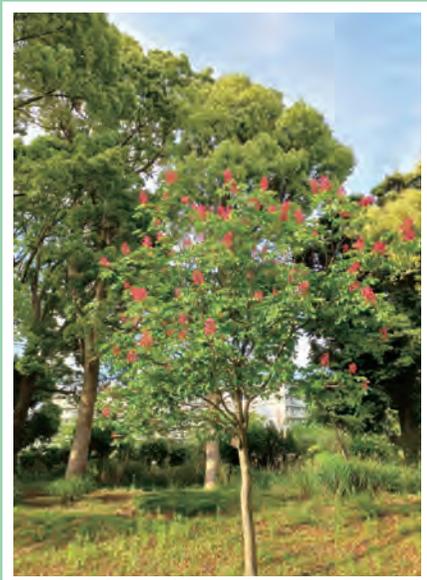


お散歩の時に気付いた「道路標識ココ富士山」。冬の空気の澄んだ日に、ココですよと標識が富士山の方向を教えてください。(森田朝子)



空に向けてまっすぐに伸びる竹、手作りのやぐら、仲間と一緒に・・・なんだかうれしいプレイパークの屋下がり。(えすめらるだ)





港南台中央公園に一本だけあるマロニエの木。5月になると緑の木々の中に赤い花を咲かせ、ひときわ目を惹きます。(MIYAさん)



円海山からの眺め。海側から昇る朝日もいいですが、反対側の夕日に照らされる富士山もいいですね。(みわ)



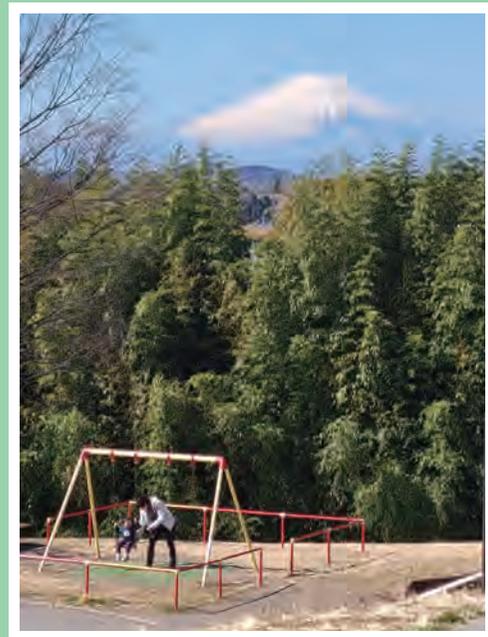
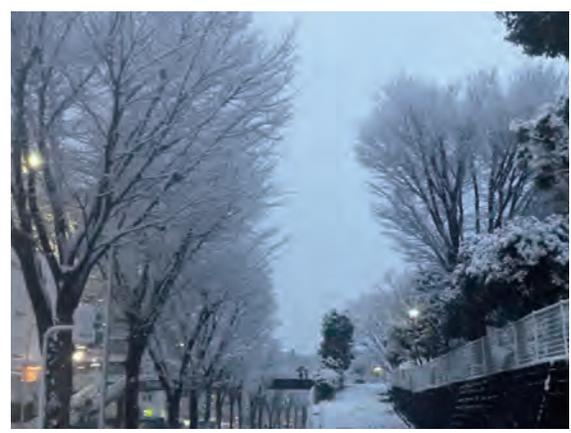
24年
寂しさ
の日で

港南台ここ好き

～みんなに自慢したい、

港南台タウンカフェ主催のまちサロンで

港南台では滅多にない雪景色。カメラを持ち、長靴を履いて駅前へ。いつもの街が違って見えました。(はまふうこ)



新春の鍛冶ヶ谷南公園ーブランコで遊ぶ親子を富士山がやさしく見守っているようでした。(いく野ふみ)



港南台の住宅街で撮影したミモザです。日課の散歩ではいつも街中の花々が目を楽しませてくれます。(タカタ)

生まれ育ったこの街と一対一で会話をするように、時間をかけてゆっくりとシャッターを切りました。(島田英澄)



かるがもの家



穏やかな優しい空気に包まれて

特定非営利活動法人

こころの健康を考える かるがも会

かるがもの家



レポート◎金子いずみ 菅野裕子 万木弘美 文◎万木弘美 撮影◎菅野裕子 取材日◎8月17日(夏祭り)19日

大きな家なので、作業ごとに部屋に分かれ、ゆったりしている。隣の部屋では、ケツキーやパイ作り。生地をきちんと同じ大きさや長さにカットしたり、絞り出したりにしている。それを並トレーに揃えて並



玄関を入るとお菓子の甘い香りがする。パウンドケーキの生地を大きなボールで混ぜている利用者さんは、「温度や湿度によって、焼き上がりが変わってくる。仕込みで調整をする。難しいけど楽しい」と。もう1人の利用者さんは、ケーキ作りになり1年。「できるようになって嬉しい。難しいけど、楽しい」と笑顔で答えた。2人ともケーキ作りに誇りをもっている。

丁寧なお菓子作り

港南台駅入口交差点近くに小さな看板に「かるがもの家」と書かれた家がある。精神障害のある人たちが、利用している作業所だ。利用者さんたちは港南区とその近隣区から通い、お菓子を製造、販売している。お菓子は地区センターや区役所でも定期的に販売し、手作りの優しい味で人気がある。

2階のキッチンで、昼食作りが始まっている。利用者さん3人と職員で全員分の昼食を作る。利用者さんは当番制で調理を担当するので今まで包丁で野菜を切ったことのない人もできるようになる。毎日26〜27食分を作る。



昼食作り・洗濯・清掃も作業

折って貼ると、はがすとき楽です」と教えてくれた。一つ一つの作業を工夫し、丁寧に仕上げ、お菓子が完成する。ベテランの利用者さんが「何百個という大量注文が入っても、大丈夫」と答えた。



べ、焼き上げ、冷ます。和室では、印刷した値札をはさみで切る作業やお菓子の袋に貼る作業をしている。作業に集中し、丁寧に切っている。値札を袋に貼っている利用者さんは、「テープの端を少し



野菜中心の栄養バランスの良い献立だ。利用者さんのお誕生日には、その人の好きな料理を作ってお祝いをする。昼食作り、作業着の洗濯、清掃も自立した生活に向けての作業なのだ。

穏やかな空気の中で

落ち着いて穏やかに作業している様子に感心し、管理者の国原俊子さんに尋ねると「環境が大事なのです」という答えが返ってきた。はじめは週に2日通ってくる。半年ごとに見直して少しずつ3日、5日と増やしていく。食事、十分な睡眠、通院、服薬を守り、生活のリズムを整えていく。ストレスに弱い利用者さんが穏やかに過ごせるよう、職員も穏やかに寄り添って支援をする。

毎日、朝のミーティングで利用者さんの調子を確認。不調そうな利用者さんには寝不足や、薬の飲み忘れ等がないかを確認し対応。朝10時になっても来所しない人には連絡し、様子を把握。細やかな支援で、最初は緊張して硬い表情の利用者さんも、次第に落ち着いて笑顔が出てくる。支援している職員にとってはとても嬉しいことである。

「環境は空気」とも言われた。たしかに家の中には、穏やかな空気が甘いお菓子の香りとともに流れている。

通い続け、生活のリズムが整い、社会性や生活のスキルが身についた利用者さんの中には就労、自立を目指す人もいる。「卒業」である。就労支援センター等と連携し、支援体制の整った就労先に勤める。就労後1年間は支援を継続し、見守っている。

地域の中で生き生きと

1986年、野庭のお寺の住職のご厚意で境内の一室に市民団体「かるがも会」が発足。翌年、作業所「かるがもの家」が開所。利用者さんが増え、手狭となり家主のご厚意により今の家に移転した。2004年、NPO法人となり、作業所「バステル」とグループホームを2か所作り運営している。昨年11月には、新たに上大岡駅前に「ぬくもりの家」が開所した。

移転当初は、地域の方から反対の声もあがったが、地域説



かるがもの家の前での販売



明会を2回行い、地域の行事に積極的に参加して理解が得られるようになった。今では、近所の人たちが職員として働いている地域に開かれた作業所だ。

取材の日も横浜雙葉高等学校の生徒さんが、先生を含めて5人、ボランティア実習に来ていた。近くの高校、看護学校などからも実習に来る。夏休みと冬休みは、小学生を対象に、利用者さんが先生となりクッキー作りをする。港南台夏祭りでも輪投げのお店を出店、子どもたちを上手に楽しく盛り上げていた。

取材の最後に「今後も、地域の方が誰でも気軽に立ち寄り交流できる温かい場所であり続けたいです」と国原さん。

「かるがもの家」は、地域の人々の心の健康も考える作業所なのだ。

優しい味わいのお菓子は、穏やかな優しい空気に包まれて作られている。



HPはこちら

かるがもの家

港南区港南台9-28-3
TEL 045-479-5572
FAX 045-479-5573





354. いさぎ・つむぎ



355. POLA 港南台



356. 清水橋クリニック



357. ラマン



358. キラッとハウス岸本



359. 読書サポーター in 港南台 代表



360. 読書サポーターズ in 港南台 kikuさん



361. ふくたんにん



[vol.16] 2026年

しあわせだなあと 感じるときは?

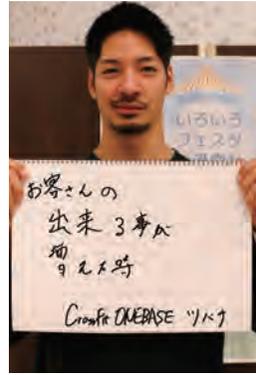
- 創刊号 1~66人
- Vol. 2 67~114人
- Vol. 3 115~145人
- Vol. 4 146~169人
- Vol. 5 170~197人
- Vol. 6 198~219人
- Vol. 7 220~236人
- Vol. 8 237~255人
- Vol. 9 256~273人
- Vol. 10 274~297人
- Vol. 11 298~305人
- Vol. 12 306~313人
- Vol. 13 314~320人
- Vol. 14 321~336人
- Vol. 15 337~353人まで掲載



362. さと



363. すっちゃん-店長



364. CrossFit ONE BASE 港南台 ツバサ



365. とも



366. 榎アイハウス 西村



367. marin



368. 清水橋クリニック 業務課



369. 看護師のたまご 3年目



370. 有) 稲村クリーニング



371. M1981@ 他区区民



372. キラッとハウス代表



373. 清水橋クリニック ナース



374. 看護師のたまご 2年目



375. めい・わか



港南台夏祭りにて



港南台タウンカフェ元気フォーラム

■ 村善徳新会長インタビュー

～ ぎわっている街に～

新し、新会長には稲村善徳さんが就任されました。
 ニング店の常務を務めていらっしゃいます。
 長を引き継いだ稲村新会長に、お話を伺いました。

文：恩田学 撮影：菅野裕子、田中美和 取材日：2025年8月16日

—— 2025年6月の総会で会長となられてから数か月、実感は湧きますか？
 実感はあまり無いですね。でも、周りから「稲村会長！」と声を掛けられると、そこで「ああ、そうなんだ…」とは感じます。

インタビューは、同年8月の港南台夏祭りの会場で行いました。会長就任から2か月で、まだまだ実感が湧かない様子でしたが、夏祭りに向けた打ち合わせや、会場設営の準備に走り回り、祭り当日もやぐらに登ってご挨拶されるなど、精力的に活動されていました。

—— 改めて会長に就任された経緯を教えてください。
 安藤前会長や荒井副会長から声を掛けられ

稲村新会長は、商店会の3代目会長 稲村昌美さんの甥にあたります。昌美会長の活動をそばで見ているうちに、少しずつ自分なら商店会をどう活かすか？というイメージが膨らんでいったのかも知れません。

て、新しい組織図を見せてもらったんです。そうしたら、そこにはすでに「会長 稲村」と書いてあって・・・。

正直、迷ったんですが、安藤前会長から「会長にならないと見えない景色があるよ」と言われて心が動きました。

自分が商店会活動に参加するにあたり、ただ入っているだけではなくて、入って何をやるか？何をしたいか？と考えたら、この機会に自分が先頭に立とうと思えました。



横浜港南台商店会

稲村善徳会長



駅前フリーマーケットの準備



■ 横浜港南台商店会 稲村新会長 ～子どもたちで～

横浜港南台商店会は2025年度より役員を一
稲村新会長は現在、有限会社稲村クリ
6年間務められた安藤前会長から商店会会

そう話す新会長の目は、子どものようにキラキラしていました。新会長自身、3人のお子様のお父さんで、休みの日に子どもたちを

子どもが楽しめる、遊びに来れるイベントを企画したいですね。港南台が子どもたちでにぎわっている街にしたいです。自分が子どもの頃の港南台には、今よりも子どもが集まるお店が多かったように思います。学校が終わったらおもちゃ屋に集まったり・。社会が変わって行く中で、できないこともあると思いますが、もつと子どもが楽しめるように商店会として何ができるか、考えたいと思います。

——では、新会長となった今、商店会や港南台という街を、どのようにしていきたいと思えますか？



いろいろフェスタ

稲村新会長、ありがとうございました。

——最後に「ふくのん」について一言いただけますか？

子どもの頃から港南台で過ごしていますが、まだまだ知らないことも多くて、ふくのんは自分の知らない港南台を教えてくれるので、毎号楽しみにしています。

連れて出かけるのが楽しみだとのこと。きっと、先頭に立って楽しんでいけるでしょう。コロナ禍を経て再び街をにぎやかに、とくに子どもたちの元気な姿が街中にあふれるように、港南台商店会も新会長と一緒に目を輝かせて盛り上げたいと思います。

住宅・不動産

- 24 ヘーベルハウス港南台店 045-832-6100
- 25 (株)大船住研 045-893-3699
- 26 住実コンサルタント 045-833-5117
- 27 (有)アライビル 045-832-2331
- 28 (株)アイハウス 045-353-7635
- 29 (株)ククシマ 045-833-3663
- 30 (有)丸吉商事 045-831-4513
- 31 村木不動産商会 045-832-2325
- 32 (有)洋光 045-831-1831
- 33 ヨコハマファイブビル 045-832-2476
- 34 (株)リビングパートナー 045-836-2860
- 35 若林不動産(株) 045-831-8291

パティスリー

- 36 お茶と海苔のいしだ園 045-833-3448
- 37 タイヤハウスオカジマ 045-833-1785
- 38 港南台タウンカフェ 045-832-3855
- 39 (株)一幸堂 045-831-1510
- 40 オカモトジュエリー 045-835-1233
- 41 小原オートサービス 045-831-6336
- 42 (株)マック 045-847-0951
- 43 はなよし 045-833-2721
- 44 UKダンススクール 045-831-6666
- 45 ブックスキタミ港南台店 045-831-3246

生活サービス・その他

- 46 PCデポ スマートライフ港南台BASE 045-352-7635
- 47 (株)トータルエージェント 045-352-7163
- 48 おふるの王様港南台店 045-830-2603
- 49 ココカラ港南台 045-830-6266
- 50 (株)三春情報センター ミック港南台駅前店 045-832-5211
- 51 クリーニングミコ 045-832-2431
- 52 イヨリダンススタジオ港南 045-835-5668
- 53 (有)神奈川空調工業 045-390-0852
- 54 くらしの友港南台総合斎場 045-836-3430
- 55 港南台駅前郵便局 045-833-1686
- 56 シロヤクリーニング港南台店 045-834-0456
- 57 ジアス港南台 045-832-1800
- 58 添田悦子税理士事務所 045-832-4537
- 59 ENEOS・辰巳興産 045-832-5883
- 60 (株)はまかせ新聞社 045-662-4390
- 61 ファミリーホール港南台 045-831-9000
- 62 (株)ほけんの110番 横浜支店 045-374-5440
(2026年1月移転予定)
- 63 (有)加藤豊店 045-842-1781
- 64 (有)ヘアサロン・スカット港南台 045-832-5958
- 65 セカンド・ストリート 045-835-1360
- 66 横浜港南台東郵便局 045-831-3733
- 67 横浜清水橋郵便局 045-833-4100
- 68 POLA THE BEAUTY港南台店 045-832-7374
- 69 HAIR MAKE OFFICE B.B 045-349-7669
- 70 キラツとハウス 0120-979-664
- 71 CrossFit ONEBASE Konandai 090-3422-5997
(2025.12.31現在)



P01 コレドコノ?の答え
「ぱねとんちーの」

P02 コレドコノ?の答え
「BAKERY STOVE」

ハイキングのお供に
あんぱんはいかが?
円海山ハイキングコース、
登山口付近に
美味しいパン屋さんありますよ。

円海山
ハイキングコース
入口

円海山
ハイキングコース
入口

MAP

横浜港南台商店会 会員マップ

健康・医療

- | | | |
|----|----------------|--------------|
| 17 | 港南台内科クリニック | 045-835-5134 |
| 18 | ホームケアクリニック横浜港南 | 045-832-5433 |
| 19 | 東海メガネ・コンタクト | 045-833-3049 |
| 20 | RAQNESS | 045-833-3100 |
| 21 | かなで接骨院 | 045-374-4044 |
| 22 | 清水橋クリニック | 045-847-5533 |
| 23 | まるつか動物病院 | 045-832-4111 |

グルメ

- | | | |
|----|------------------|---------------|
| 1 | KAWASHIMA ittka | 070-9087-4769 |
| 2 | せんざん本店港南台店 | 045-831-2855 |
| 3 | 満天酒場港南台店 | 045-830-3041 |
| 4 | ばねとんちーの | 045-831-7089 |
| 5 | モスバーガー港南台店 | 045-831-1719 |
| 6 | Ange Dogcafe | 045-836-1501 |
| 7 | Cafe and Bar PEA | 045-832-2335 |
| 8 | 菓匠 花むら | 090-9089-8455 |
| 9 | 肴屋港南台 | 045-834-2855 |
| 10 | 呑み食い処 おかえり | 080-5544-5128 |
| 11 | 炭火串焼き らしょうもん | 045-832-0288 |
| 12 | ブルームーン | 090-6650-5825 |
| 13 | 麺屋づかちゃん | 045-294-5675 |
| 14 | 九州焼肉 たらふく | 045-832-1129 |
| 15 | 和彩寮 しろもの | 045-836-2304 |
| 16 | 麵侍 誠 | 045-900-5545 |

- グルメ
- 健康・医療
- 住宅・不動産
- ショップ
- 生活サービス・その他



1000人インタビュー

ご協力ありがとうございました ～看護専門学校ボランティア部のみなさん～

今回、横浜港南台商店会主催「いろいろフェスタ in 港南台 2025」にて、「ふ～のん」名物「1000人インタビュー」のお手伝いに看護専門学校ボランティア部の学生さんたちが参加してくれました！彼女たちの感想をご紹介します。

「このようなインタビューを行うことは初めてでしたが、皆さん笑顔で引き受けてくださりとても嬉しく、貴重な体験をさせていただきました。それぞれの幸せのカタチがあることを知ることができ、私まで幸せな気持ちになりました！また、インタビューを受ける側にもならせていただき、自分の幸せを改めて再確認できたので良かったです。

素敵な経験をありがとうございました！」



「私は市外に住んでいますが、区内の学校に通い始めたことをきっかけに港南区とご縁が生まれました。今回のインタビューでは、皆さんが幸せについて語るときのほころぶ笑顔がとても印象的で、その姿から私自身の“幸せ”についても考えるきっかけになりました。貴重な経験をありがとうございました」

横浜市病院協会 看護専門学校（学校 HP より）

公益社団法人横浜市病院協会は、国際都市よこはまの医療ニーズに適應できる豊かな人間性と、高度医療に対応した科学的、専門的な知識、技術を有する看護師を養成し、地域医療水準の維持向上に資することを目的に、本校を開校しました。

本校は、横浜市内に所在する大多数の病院によって構成される横

浜市病院協会が運営し、横浜市の支援のもと、地域医療の向上と市民の健康・福祉増進のために、医療従事者養成を担います。



ホームページは
こちら



【基本情報】

横浜市港南区港南台三丁目3番1号

TEL: 045-834-2002(代)

FAX: 045-834-1809

<https://www.yhasn.ed.jp/index.php>



今回はフォト自慢を担当。いろいろな方の地域に寄せるあたたかいまなざしや思いに触れて、心の中にぽっとお花が咲いたような気持ちです。(おかの)

16号です…16年も続けられて感無量です。目次のあんパンを見てどの店のものかわかった方は港南台のレジェンドです。(かねこ)

お煎餅をあんパンに見立てて腕を突きあげ、試し撮りする。いい仲間です。16年たっても飽きない、ふ〜のんの魅力満載です。(かんの)

取材に出る度に、好きな場所や人が増える。通り過ぎていた風景に奥行きと彩りが生まれる。その昔、人見知りだった私、今はコミュカお化けだそう。ふ〜のんって凄いな。(塩崎)

ハイキングにはあんぱん。そーだ!あんぱん載せたい!との無茶振りを面白がってくれるふ〜のんの仲間。あんぱん撮りまくって、食べまくった16号。ごちそうさまでした。(藤沼)

「港南台ここ好きフォト自慢」を担当しました。コメントを読むと選ばれた理由がわかるように感じます。(竹田)

人に穏やかに優しく接し、物(書物や食物)も楽しく大切に扱うのっていいな!癒されました。(万木)

ふ〜のん16号も港南台愛があふれる一冊になりました。港南台には素敵な人、素敵なお店、素敵な風景がたくさん!まだまだふ〜のん続けないと!(たなか)

今号でお話を伺った港南台商店会の稲村善徳新会長はバンドマン。仕事の合間にスタジオに入って練習しているとか…実は商店会にはバンドマンが多いので夏祭りではひょっとして?(恩田)

本が好き。あんぱんが好き。毎回、私の好きなものが詰まった港南台。いつも楽しみながら、ふ〜のんを作っています。(八巻)

港南台タウンカフェ サポーター募集中



「ふ〜のん」発行や、テント村運営・市民レポーター育成など、港南台のまちづくり活動推進のためにご協力をお願いします。

サポート費用 一口 1,000円 (年間) 複数口も歓迎いたします
(団体・企業様は10口以上でお願いしています)

ゆうちょ銀行振替口座 00290-0-124517 港南台タウンカフェ
※港南台タウンカフェでの納入も可能です(現金のみ)



詳細はこちらまで 港南台タウンカフェ TEL: 045-832-3855 FAX: 045-832-3864

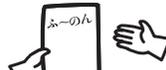
あなたにできるコト



カンパで協力



サポーター
(応援会員)になる



読み終わったふ〜のんを
知り合いに手渡す



まちのネタを集めて
知らせる



ふ〜のんの
感想を寄せる

港南台タウンカフェサポーター

石山恒貴/川嶋庸子/齋藤麻利子/笹浪真一/佐藤大伍/杉浦真知子/菅野江利子/鈴木千賀子/高嶋賢一/西宮玲子/野口幸子/長谷川淳/藤井和恵/前原孝則/前原美江子/村田尚子/万木弘美/匿名希望の方数名(敬称略・順不同)

㈱住宅リフォーム神奈川/NPO法人 さくら茶屋にししば/㈱せんざん/㈱ SUISHAYA /
㈱一幸堂/PCデポスマートライフ港南台 BASE

※2025年4月～2026年1月末までにご協力いただいた方をご紹介します。

お問合せ 港南台タウンカフェ

TEL: 045-832-3855

住所: 横浜市港南区港南台4-17-22 ブックスキタミ2F

URL: <http://www.town-cafe.jp>

発行: 横浜港南台商店会、港南台タウンカフェ通信編集委員会

後援: 港南台連合自治会、日野連合町内会 制作: 株式会社イータウン

ボランティアスタッフ

(企画・取材・編集)

岡野 富茂子

金子 いずみ

菅野 裕子

塩崎 水映子

竹田 真奈美

藤沼 理保

万木 弘美

事務局

齋藤 保・田中 美和

横浜港南台商店会情報部会

恩田 学・安川 達哉・西原 新吾

デザイン

八巻 直子

この冊子が、まちへの関心を生み出したり、
新しい出会いや楽しいことが生まれるきっかけになればいいな…。
地元商店主、学生、主婦…みんなそれぞれの暮らしの中で
まちへの思いをもってつくりあげた、参加型の手づくり情報マガジンです。
ふ〜のんで一緒にまちを楽しんでいただけたら嬉しいです。



「ふ〜のん」は、「彫刻と野鳥とマロニエの街・港南台」をキャッチフレーズに
まちづくり活動を行う「横浜港南台商店会」と地元の市民ボランティアや学生、
「港南台タウンカフェ」が連携して編集委員会を設置し、企画編集発行して
いる、市民参加型の手づくり情報マガジンです。

商店会の事業費の他、行政の補助や港南台タウンカフェサポーター会費等で
運営・発行しています。

みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



ふ〜のん WEB版